

令和元年度 第1回 高知県公立大学法人理事会議事録

- 1 日 時： 令和元年6月25日（火）16：30～17：00
- 2 場 所： 高知県公立大学法人 永国寺キャンパス教育研究棟3階 役員会議室
- 3 出席者： 中澤 卓史、磯部 雅彦、野嶋 佐由美、青木 章泰、五百藏 高浩、春日 文子、
清水 明宏、村山 龍一
（監事） 浜田 正博、松本 幸大
欠席者： 尾池 和夫
- 4 議事録署名人の選出
規定により理事長が議長を務め、議案について審議を行った。
本理事会の議事録署名人として、議長のほか、野嶋副理事長と春日理事を指名した。
- 5 議 事
理事は全員が経営審議会委員であり、議案については同日 14:00 から開催された経営審議会において、詳細な説明を行い承認されていることから、その結果を踏まえて審議を行った。
1号議案 平成30年度業務実績報告書について
議案について審議を行い、原案どおり承認された。
「Society5.0」や「SDGs」という未来の視点から、大学は、今後求められる人材を育成するための教育について検討しているのかという理事からの発言に対して、次のとおり意見があった。
高知工科大学：今必要な国際性、情報系に関しては、授業で学べるようにしている。急激な社会変化に対応していく人材を育成するには、基盤的基礎科目が重要であり、考えるという経験が教育として必要である。現在、来年度4月の導入に向けて、新たなカリキュラムを検討中である。
高知県立大学：学術戦略委員会を中心として、状況を変えていく能力を育むために地域密着型の教育・研究を行っていく。「Society5.0」等については、大学全体での位置づけはこれから検討していくが、専門教育の中では、データヘルスに関する教育は開始し、科学的介護についても進めていく予定である。
法人：設置者である高知県が6年間の中期目標を策定し、それに則って中期計画及び年度計画ををたてている。時代の変化に伴い、中期目標も途中で変更するという考え方があっていいのではないかと考える。

2号議案 平成30年度決算について

議案について、経営審議会での審議を踏まえ、以下、修正することをもって承認された。

- ・ P.115 1段落目 授業料等収益 19億9千百万円 → 19億9千万円
資産見返負債戻入 7億2千百万円 → 7億2千万円

3号議案 高知県公立大学法人職員の勤務時間等に関する規程の改正について

4号議案 法人が設置する大学の学長選考会議委員の選出について

経営審議会の議案であるため、理事会の次第からは削除する。

6 報告

報告事項については、経営審議会での報告と同じであるため、経営審議会での報告内容をもって理事会における報告とした。

1号報告 平成30年度高知県公立大学法人の債権放棄について

2号報告 高知県立大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻の発展的解消と緩やかな連携への展開について

以下のように、タイトルを変更する。

「高知県立大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻の発展的展開と緩やかな連携への転換について」

3号報告 高知県議会危機管理文化厚生委員会出先機関等提出資料について

4号報告 高知工科大学県有研究施設使用規程の廃止について

5号報告 高知工科大学高圧ガス危害予防規程の廃止について

6号報告 高知工科大学名誉教授称号規程の改正について

7号報告 高知県立大学及び高知工科大学における平成31年度入学試験結果について

8号報告 高知県立大学及び高知工科大学における平成30年度就職状況について

9号報告 高知県立大及び高知工科大学における活動報告について

7 その他

以上により、本日の議事を終了した。

うえのとおり、確認をする。

令和 年 月 日

議 長 _____ (印)

議事録署名人 _____ (印)

議事録署名人 _____ (印)